

第2回「たまがわ LOOP」 クルマを愛好する趣味人の会

@玉川高島屋 S・C



どうなることやら、参加者みんなで作っていきたくてトライアルのような気持ちで「たまがわ LOOP」を舞台にスタートしたイベント「クルマを愛好する趣味人の会」。早くもその第2回目が7月9日（土）に開催された。

玉川高島屋屋上階にある居心地のいい一室でクルマ好きが集まって、クルマ談義を…という趣向なのだが、第2回目とどう展開しようか。いや、前回と同じメンバーが集まってくださるのか、まったく新しいメンバーばかりなのか、そのあたりも暗中模索なのであった。

結果的には引きつづき参加して下さる方あり、新しいメンバーありで、なかなか難しい。

前回は「一台のクルマがこんなにも生活を変えてくれた」と題したのにつづいて、「クルマはこんなにも面白い」というテーマ。

趣味が少し深まっていくようなことを題材にし、カタログなど紙もの、ミニチュアや関連グッズなど、クルマ周りの楽しみを話していく。

そう、その前にモテギの「Drag in」で11回目にしてみごと優勝した桑木敏さんに優勝盾を持参いただき、みんなで「おめでとう」からスタート、ミニカーの項ではコレクションの大家、賛田勇人さんをお願いして、VWビートルのミニカーを一台、桑木さんにお祝いプレゼントしていただいた。ミニカー趣味はない、という桑木さんがこの先、どう変化するかが楽しみである。

ペーパークラフトやイラストを趣味にしている望月健太郎さんに、この先どう展開していくか、など趣味の域を超える話なども出てくる。

この日初参加、写真上の小河昭夫さん、昭太さん父子は、ふたりしていまイタリア某車をレストレイション中、しかも昭太さんは現役大学生で、大学に自動車部を復活させ、さらに面白いアイデアを計画中というから楽しんだ。

MR-Sで参加の渡邊様も若きクルマ好き、1958年式カルマンギア・コンヴァーティブルの大谷隆さんのクルマもいい雰囲気决定着まっている。左の写真、賛田さんのディーノ208GT4、辻野寛実さんのアルファ・ロメオに挟まれても、さすがイタリアン・デザインの実績を見せている。

途中コーヒープレイクを挟んで2時間ほどの後、会場から10分ほどのポイントで記念撮影。遠足の欠席者のように写っている2人、この日、トークのお相手をしてくれた「お～さん」と初参加、高崎から来てくださった中澤宣純さん。フィアット・マルチプラのオーナーとして本誌22号に登場いただいた。なんでも駐車場でクルマを見失ったという「お～さん」の隣席で解散直後にやって来た、という次第。

次回、10月初旬開催予定なので、<https://www.takashimaya.co.jp/tamagawa/sc/loop/> をチェック。



メルセデス E500 を趣味のクルマにする竹内秀行さん。下は渡邊さんのMR-S。若きオーナーには絶好の一台。



VW 乗りのふたり、桑木さんは優勝盾を手にカッコ良いなあ。伊藤美穂さんは「品5」ナンバーのVWをただいまレストア中。



「ルパン三世」のペーパークラフトをはじめクルマを題材に趣味世界を拓く望月さん。

